

「平成 24 年度 第 3 回修習セミナー」開催報告

修習技術者支援委員会 委員

山下祐一

1. はじめに

平成 24 年 6 月 16 日、広島市内の(財)広島県環境保健協会講堂において、「平成 24 年度第 3 回修習セミナー」が開催された。講師として A P E C こと鳥居直也さんを迎えて、午前中は技術士総合技術監理部門を対象とした「総監的思考のトレーニング」と題して講演し、50 名の方が参加した。午後は技術士 20 部門を対象として「課題解決能力を鍛える、インフラ整備を例にして」と題して講演し、106 名と大勢の方が参加した。これまで会場の都合で最大 60 名と参加者を制限していたが、今回は希望者全員が参加することができ、会場がにぎやかになりました。

2. 総合技術管理部門について

総合技術監理部門は、次の 3 つの技術力が必要とのことです。1 つは、専門技術者としてではなく管理技術者として発送できる。2 つ目は、5 つの管理を正しく理解し使いこなせる(部分最適化)。最後に、限られたリソースを最適配分して全体を最適な状態にできる(全体最適化)。このように総合技術監理部門の内容を簡単に 3 つにうまくまとめています。その内容について事例を通してわかりやすく説明し、参加者の理解を深める努力をされていました。

次は、実際の問題対応です。まず、択一問題について、知識の問題なので勉強するしかないとのことです。総合技術監理部門の基本となる青本から出るかでないかについても説明がありました。すなわち、5 つの管理のうち、経済性管理、人的資源管理、安全管理はほぼ青本の勉強で十分ということです。ただ、そのうち人的資源管理は理解

にばらつきがみられるということで、注意が必要とのことです。また、情報管理は一部青本にないものが出るし、社会環境管理については法律の関係もあり、大きく違う問題が出るようです。すなわち、時代とともに大きく変わる内容について、当然青本は対応できていないことになり、新しい動向については、新聞や雑誌を注意深く見る必要があります。



写真-1 鳥居直也講師の熱心な説明

次に、記述論文問題ですが、これについてはこれまでの問題を例として分析し、問題に対する取り組みについて話をされました。



写真-2 講習会に集まった多くの参加者

た。特に、受験者は 6 割が建設部門なので、問題は①公共工事、②ものづくりの 2 つに大きく分かれているとのことです。問題も

受験者に配慮しているようですが、問題を見る限り誰でもまとめることができるとは言えない気がします。これからは大規模工事やものづくりも自分で決めたり、想定してまとめるようになるのではないかと話をされました。

3. 技術士 20 部門について

技術士になるには、①文章力、②ロジック、③知識だそうである。これをうまく使いこなせないと技術士になれないそうである。まず、必須科目の合格基準と題しての話になり、これまでの出題問題について丁寧に解説し、得意な骨子法によるまとめ方を披露されました。必須科目の重要ポイントとして、問題解決にあたってのボトルネックとしての課題の掘り下げ、これを明確に記述し、必然的に解決の方向性を導くのがよいのだそうである。ただ、それが誰でもうまくまとめることができるかどうか、聞いていてなかなか難しい面もあったと思いました。



写真-3 参加者の熱心な聴講の様子

インフラ整備については、①防災・減災関連、②環境問題、③グローバル経済、④観光、⑤地域活性化・まちづくり、⑥多様な主体、⑦建設産業の活性化、技術力維持向上について、現状、問題点、解決の方向性をキーワードで整理したものを説明され、よくまとめている印象を受けました。ました。

選択科目についても説明があり、要は「問題解決に必要な専門知識」と考えればよく、課題に対する判断や分析が、これまでに蓄積した知識や経験に裏打ちされており、状況に応じた実現可能な考え方になっているかどうか等の観点から評価されるということでした。具体的にどのようなことなのか理解しがたいところもありますが、そこは具体例を挙げて、わかりやすく説明されていたのが印象的でした。

3. おわりに

今回の修習セミナーは、午前と午後に分けて、総合技術監理部門と 20 部門の受験の考え方について講習をしていただきました。いずれも 3 時間という長い時間を、PPT も使わず、講演形式で話をするというかなり体力も必要な説明に驚くとともに、面倒見の良さも感じました。これから技術士試験も本番に向けた準備や集中的な勉強を行う時期になり、参加者の皆さんがこの講習会が一つの動機づけとなり、多くの方が合格することを祈念しているところです。その暁に技術士に合格すれば、ぜひとも技術士会の会員となっていきたいと思えます。

以上



写真-4 鳥居講師を囲んだ修習支援委員メンバー